いわき市夏井川水系

洪水避難地図（全体図）

こうずいひなんちず

想定最大規模　ー河川洪水ハザードマップー

マップの使い方

このマップは、夏井川及びその支流が想定し得る最大規模（1000年に一度程度）の大雨により、堤防が決壊し、氾濫した場合を想定した計算結果に基づき、浸水想定区域・浸水深・避難所等を示したマップです。
平時より、マップや裏面の「避難行動判定フロー」を確認し、大雨（台風）対応マイ・タイムラインを作成の上、分かりやすい所へ保管、または掲示してください。
みなさんが災害について関心を持ち、いざというときに落ち着いて行動できるよう日頃から正しい防災知識を身につけておくことが大切です。
なお、避難所については浸水被害を想定して作成しており、必ずしも全ての災害に対応するものではありませんので災害の種類等に応じた避難所を確認しておいてください。

想定最大規模降雨
・夏井川流域　：48 時間　総雨量 533.9 ㎜
・仁井田川流域：24 時間　総雨量 723.5 ㎜

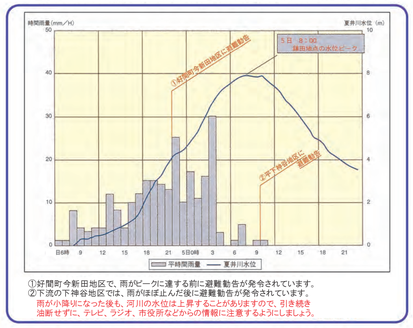
水害のおそれがある時には、市から避難指示が発令されますので、速やかに避難してください。
なお、あなたが住んでいる地区における浸水や崖崩れ等、大雨による災害が発生する場所や状況を日頃から把握し、雨の降り方や浸水の状況に注意して、危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけましょう。
また、地図に示した区域以外の場所も、状況によっては浸水することがありますので注意してください。

避難時の心得

■突発的な災害の場合、避難指示等の発令が間に合わないこともあるため、身の危険を感じたら躊躇なく自発的に避難しましょう。
■浸水深が膝より低いうちに避難しましょう。腰までの浸水なら歩く速度は1.5～2.0km/hが目安となりますがお年寄や子供が一緒の時はさらに時間を要します。
■浸水しているところを避難する際には、お年寄は、はしごでおみこし式に担いだり、赤ちゃんはベビーバスに乗せて避難しましょう。また、避難は2人以上で行い、水に流されないようにロープや竹竿でお互いにつながりましょう。避難路は高い道路を選び、側溝や水路に転落しないように探り棒を持ちましょう。
■河川沿いの道路・地下道を使っての避難は避け、また山沿いの道路を使って避難する場合には、土砂災害にも注意しましょう。
■市役所や消防署からの避難の呼びかけは、雨戸や風雨の音で聞こえにくい場合があるので注意しましょう。また、テレビ・ラジオをつけておき、気象情報等に注意するようにしましょう。
■指定避難所への避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、近隣の頑丈な高い建物への避難や、少しでも命が助かる可能性の高い避難行動として、屋内での安全確保を行いましょう。
■自家用車で移動する場合は、早めに浸水想定区域外にある駐車場の広い避難所等へ避難しましょう。

雨の降り方と水位の上がり方

下の図は昭和61年8月洪水の平地点の雨量と夏井川鎌田地点の水位を比較したものです。



①好間町今新田地区で、雨がピークに達する前に避難勧告が発令されています。
②下流の下神谷地区では、雨がほぼ止んだ後に避難勧告が発令されています。
雨が小降りになった後も、河川の水位は上昇することがありますので、引き続き油断せずに、テレビ、ラジオ、市役所などからの情報に注意するようにしましょう。

凡　例

想定し得る最大規模の降雨によって河川が増水し、浸水被害が発生した場合に予想される浸水の範囲を示しています。
開設されている避難所については、市ホームページ、市防災メール、テレビのデータ放送等で確認してください。なお、福祉避難所は、一般避難所の要配慮者状況等を判断し必要時に開設します。

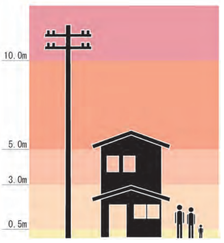
＜指定避難所＞
- 避難可能な施設
- 避難可能な施設 浸水時車両の乗入れが不可能な施設
- 使用不可 洪水のおそれがある時は避難不可能な施設

＜福祉避難所＞
（要配慮者の方が利用する避難所）
- 避難可能な施設
- 使用不可 洪水のおそれがある時は避難不可能な施設

＜公共・防災関係施設＞
- 市役所・支所
- 防災関係機関・救急医療施設

＜河川水位計＞
（令和3年3月時点のものです）
- 水位観測所
- 危機管理型水位計

＜浸水深の目安＞
- 10.0m以上
- 5.0m～10.0m未満（ビルの3階まで浸水する）
- 3.0m～5.0m未満（2階が水没する）
- 0.5m～3.0m未満（1階が水没する）
- 0.5m未満（床下浸水）（大人の膝までつかる）

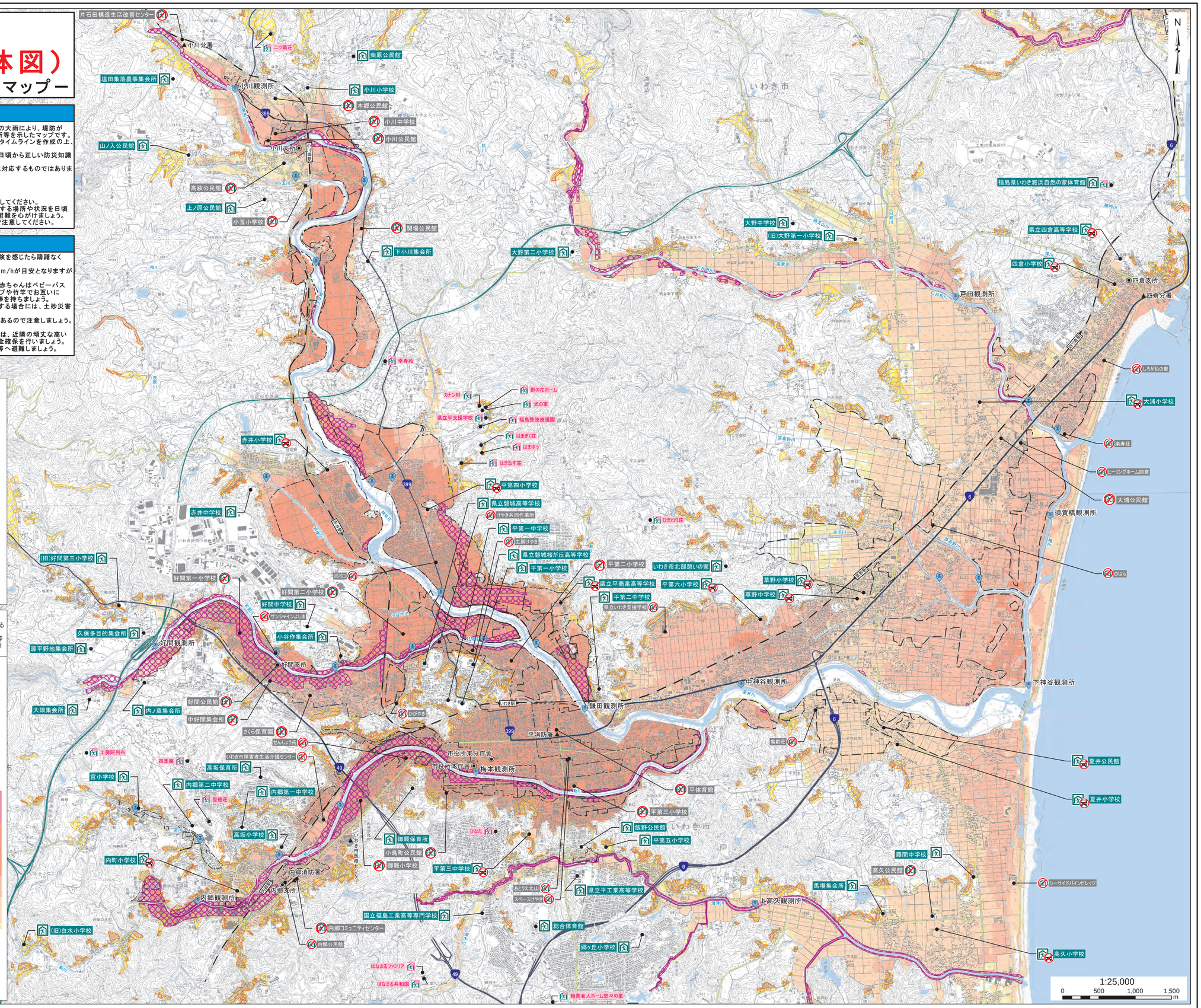


＜家屋倒壊等はん濫想定区域＞
（河岸侵食・氾濫流）
- 河岸侵食または、氾濫流により家屋が倒壊するおそれがある区域

＜洪水浸水実績区域＞
- 洪水浸水暫定区域*（令和元年10月大雨）
- 洪水浸水暫定区域*（令和元年東日本台風）
- 洪水浸水実績区域（平成元年8月）
- 洪水浸水実績区域（昭和61年8月）

＜土砂災害警戒区域＞
（令和3年3月16日時点のものです）
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

※暫定区域であり、区域外でも浸水した箇所、区域内でも浸水していない箇所がある可能性があることから、参考図としてご活用下さい。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）及び数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）を使用した。
（承認番号　平30情使、第846号）

※併せて土砂災害発生のおそれのある区域を示した「土砂災害警戒区域総括図」を確認しましょう

令和3年3月作成　いわき市